

弘前市薬剤師会広報

支部通信

- 2/1 青森県薬剤師連盟総務会 青森県薬剤師会館
2/3 健康介護まちかど相談薬局研修会
弘前文化センター
2/8 緩和ケア公開講座 弘前大学医学部附属病院
第5回在宅医療推進委員会
さいとう調剤薬局
2/10 日薬生涯学習担当者全国会議 日薬会館
2/12 三役会 弘前市総合学習センター
2/16 県薬理事会 青森県薬剤師会館
2/18 第3回弘前市地域包括支援センター運営協議会
弘前市図書館
第3回弘前市地域密着型サービス運営協議会
弘前市図書館
第7回親睦委員会 さいとう調剤薬局本店
2/19 支部役員会 弘前市民会館
2/24 在宅医療研修会 十和田市立中央病院
2/26 三役会(臨時) 弘前市総合学習センター
2/28 「健康ひろさき21」評価会議 弘前市保健センター

役員会だより

第13回役員幹事会議事録

日時：平成25年2月19日(火)午後7時15分
場所：弘前市民会館

出席者：前田会長、磯木、中山、鈴木、津川、白滝、各副会長、八木橋専務、佐々木(直)、上田、小林、工藤、大川、葛西、奈良、齋藤、吉岡、田澤、加藤、佐々木(克)各幹事、齋藤(土)、櫻庭監査役

●報告事項

- (1) 西谷冽先生新年会出席 (1/25)
・弘前支部出席者：前田、磯木、櫻庭、八木橋(栄)、八木橋(雄)
(2) 平成25年弘前薬剤師会新年会について (1/19)
・参加者(来賓含む)59名
(3) 弘前大学医学部附属病院 緩和ケア公開講座 (2/8)
・参加者25名 次回4月を予定。

弘前市薬剤師会広報 第199号

発行日 2013年(平成25年)3月1日

発行所 青森県薬剤師会弘前支部

弘前市富田3丁目14-1

TEL (0172)32-6205 FAX (0172)32-9199

<http://hirosakiyaku.com/>

(4) まちかど相談薬局研修会について (2/3)

- ・参加者79名(内新規17名) 非会員3名
- ・配布したまちかど相談薬局ステッカーの有効期限がH24年度のため、次回から検討する。
- ・次回開催予定7.8.10月の日曜日。

(5) 三役会 (2/12)

- *薬局への無料・低額診事業について
- ・弘前調剤センター職員より弘前薬剤師会の後押し了解のお願いがあった。
※無料・低額診は医療費を払えない方を対象に減額や免除を行う制度。現在病院、診療所は対象になっているが、薬局は対象外になっている。
- *中央病院 FAX での疑義照会
- ・昨年10月より土曜日は診療がなく、FAXによる疑義照会は受付出来ない旨をお知らせして欲しいとの要請があり、支部広報を通じて会員に周知する。
- *FAX 事業について
- ・黒石病院のFAX コーナー延長の要望について
火、木曜日だけでも午後3時まで延長してほしい。
担当者の契約状況等を確認後検討する。
- ・市立病院以外にヒーター設置
- ・国立病院 FAX せんたろう設置更新について
- *青森県薬剤師会開局部会について
- ・後述の開局議題参照
- *薬剤師連盟関連
- ・木村県薬会長の参院選出馬について県薬理事会で説明をする。
- ・若手薬剤師フォーラムは前田会長欠席、タイムスケジュール調整中。
- *事務局関連
- ・4月総会に向けて監査、通帳などの準備中。
- *H25年度青森県薬剤師会弘前支部事業計画書
- ・先月県薬に提出した内容を確認。他支部との違いを協議。

●協議（審議）事項

(1) 平成 24 年度弘前薬剤師会総会について

- ・日時：5 月 11 日（土）
- ・場所：未定 ホテル、公共機関を予定。
- ・総会后懇親会を予定。

(2) その他

*支部広報 200 号について

・候補：カラー、役員写真、連絡先などの会員が使える便利帳等。

*生涯学習委員会

・第 17 回薬剤師生涯セミナーで薬剤師会用に 30 分時間が取れる。JPALS の登録方法などの実践。

・JPALS 活用をお願い

現在青森県 219 名（全会員中 15.3%）全国 14 位
登録数 過渡的申請 128 名（全会員中 8.9%）全国 12 位
刈刈カカターレベル 5 過渡的申請が 5/10 まで延長予定。

*親睦委員会

・来年度も今年度同様ゴルフサークルを開催する予定。
それに伴い、現在有志で行っている薬剤師ゴルフ会の「迷球会」の案内をゴルフサークルの延長と考え、広報で告知したい。（会からの持ち出し無し）

*その他

・内容次第で会員がお知らせ出来る広報掲示板のコーナーを作ることを含め検討する。

●開局議題

(1) 開局部会報告

・今後、青森県薬剤師会の開局部会で続けるか、新しく開局薬剤師会を立ち上げるか検討中。3 月 9 日の臨時総会で決定予定。

●県薬理事会・委員会報告

(1) 県薬理事会（2 月 16 日）

*木村会長の参院選出馬について

・出馬後も青森県薬剤師会会長を任期終了まで勤めたい。

*ジェネリックに関して、医療機関にアンケート調査をする。

・対象：診療所、歯科医院から抽出。薬局は全薬局。

*会員薬局（特に基準を取っている薬局）へ PMDA メディナビへの登録を進める。

(2) 新入会員：浦野 浩一、田中 明美、吉田恵美子、

佐々木 孝和

(3) 退会：宇藤 淑江

(4) 一般用医薬品委員会

・来年度エッセンシャルドラッグの説明会を各支部で行う予定。

委員会だより

弘前中央病院から疑義照会について お知らせ

弘前中央病院 薬剤科

昨年10月より土曜日の外来診療がなくなり、FAXによる院外処方箋の疑義照会に対応できなくなりました。しかし、患者様の都合により土曜日の疑義照会には電話対応いたしますが、処方医師不在のためスムーズな対応が出来ない事も予想されますので、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

愛成会病院よりお知らせ

愛成会病院では、4月1日(予定)より門前薬局がオープンするに伴い、全面的に院外処方せんを発行いたします。このため、3月中に、自立支援医療（精神通院医療）の患者様から利用する薬局名の聞き取りを行い、患者様が利用する薬局に対しあらかじめ処方内容を連絡することにいたします。ただし、混乱を避ける為に、院外処方せんの発行開始日は門前薬局のオープンにあわせるとのことであります。

メディナビ登録の推奨について

基準調剤加算の算定要件で、情報提供に必要な体制の整備状況があります。その一つとして、インターネットが出来る環境も含まれ、いつでも必要な情報を入手できることが求められています。インターネットを利用した情報収集サイトとして医薬品医療機器総合機構（PMDA）のメディナビの活用を推奨します。登録すると、医薬品や医療機器等の安全性情報や回収情報等がメールにて送られて来ます。登録していることで上記の要件を満たす証拠にもなりますので是非この機会に登録をして、ご活用をお願いします。

登録の方法は、「PMDAメディナビ」を検索→「新規登録はこちら」ボタンをクリック→必要な情報を項目ごとに選択→確認用メールが届く→メール本文中のリンクをクリック→これで登録完了です。簡単ですので、登録をお願いします。

広報情報委員会

● 弘前大学医学部附属病院

《 新規院外登録薬品 》

アポカイン皮下注 30mg

タムスロシン塩酸塩 OD錠 0.1mg 「ファイザー」

タムスロシン塩酸塩 OD錠 0.2mg 「ファイザー」

開局委員会

取扱い処方箋数届出書提出について

次にあてはまる薬局は、毎年3月31日までに、前年(1月1日から12月31日まで)の処方箋数を届け出てください。

・以下の計算で求められる前年の一日平均取扱処方箋数が40枚を超え、また前年において業務を行った期間が3か月以上の薬局

○1 日平均取扱処方箋数の計算方法

・1 日平均取扱処方箋数＝前年の総取扱処方箋数(注釈1)÷前年に業務を行った日数(注釈2)

注釈1：眼科・歯科・耳鼻咽喉科の処方箋数×2/3＋その他の診療科の処方箋数

注釈2：調剤の有無に関わらず薬局として業務を行った日数

○届出期間・毎年3月31日まで

届出書は薬剤師会弘前支部のHPよりダウンロード出来ます。

生涯学習委員会

★JPALS 実演講習会開催のお知らせ★

生涯学習委員長 上田寿夫

支部 FAX 及びこの支部広報に同封のチラシでもお知らせしておりますが、3/14 ホテルニューキャッスルで開催される、第17回薬剤師生涯セミナーの中で、実際にパソコンを使用して、JPALS のデモンストレーションを行います。また、セミナー終了後同会場にて使用方法のご質問にお答えする機会を設けますので、JPALS をまだ活用していない方、操作方法で困っている方は是非ご参加ください。

※同封のセミナー案内の裏面に JPALS 新規登録に必要なデータをまとめましたので、登録操作前にデータをそろえてから登録操作をするとスムーズです。ご参照下さい。

★前回広報内容の訂正とお詫び★

前回の広報で私の記載内容に間違いがありました。謹んで訂正とお詫び申し上げます。

訂正箇所は 日本薬剤師会認定クリニカルラダーレベル5の過渡的認定条件の所です。

(誤) 条件は薬剤師免許登録時より15年経過した方かつ薬剤師認定制度認証機構の認証した生涯学習制度の実施母体(一例として日本薬剤師研修センターの認定薬剤師)の認定を受けている方。

(正) 下記の1または2に該当する方。

1. 薬剤師免許登録時より15年経過した方。(優先事項)

2. 1の条件を満たさない方で薬剤師認定制度認証機構の認証した生涯学習制度の実施母体(一例として日本薬剤師研修センターの認定薬剤師)の認定を受けている方。

JPALS に関するご質問は生涯学習委員会までお願い致します。

第17回薬剤師生涯セミナー

日時：平成25年3月14日(木) 18:20～20:20

場所：ニューキャッスルホテル弘前 3階「麗峰」

弘前市上鞆師町24-1 TEL:0172-36-1211

【情報提供】18:20～18:40

『ロトリガ粒状カプセルの概要』

武田薬品 中野 陽介

【一般演題】18:40～19:10

『JPALS の申請とクリニカルラダーについて』
～登録操作及びプレチェック、実践記録の方法～

生涯学習委員会 委員長 上田 寿夫 先生

【特別演題】19:20～20:20

『魚油と疾病～n-3系脂肪酸の可能性～』

弘前大学大学院医学研究科 地域医療学講座

弘前大学医学部附属病院腎臓内科

准教授 中村 典雄 先生

日本薬剤師研修センター認定研修：1単位

共催：青森県薬剤師会弘前支部

武田薬品工業株式会社

第9回 弘前糖尿病合併症懇話会

日時：平成25年3月19日(火) 18:45~20:30
場所：ベストウエスタンホテルニューシティ弘前 3階「アメジスト」
弘前市大町1-1-2 TEL:0172-37-0700

【製品紹介】18:45~19:00 MSD株式会社

『高選択的DPP-4阻害剤ジャヌビア錠』

【教育講演】19:00~19:30

『DPP-4阻害薬の腎血管保護作用とそのメカニズム』

東北大学 保健管理センター 准教授 小川 晋 先生

【特別講演】19:30~20:30

『食後高血糖と糖尿病治療』

弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座
教授 大門 真 先生

主催：MSD株式会社

後援：弘前市医師会(予定)

南黒医師会(予定)

青森糖尿病療養指導研究会

青森県薬剤師会弘前支部

青森糖尿病療養指導士認定更新のための研修会

(1単位)申請予定

日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会

(0.5単位)申請予定

エクア錠適応拡大記念講演会 ～糖尿病治療の新たなる夜明け～

日時：平成25年3月22日(金) 19:00~
場所：ベストウエスタンホテルニューシティ弘前 3階「サファイヤ」

【製品紹介】『選択的DPP-4阻害薬 エクア錠』

【基調講演】19:10~19:40

『DPP-4阻害薬に関する最近の話題提供
～TSUGARU Diabetes Studyを中心に～』

今村クリニック 院長 今村 憲市 先生

【特別講演】19:40~20:40

『J-VICTORIA Study から見たエクア錠の有用性』

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科
教授 佐々木 敬 先生

主催：ノバルティスファーマ株式会社

後援：弘前市医師会(仮)

南黒医師会(仮)

西北五医師会(仮)

青森県病院薬剤師会弘前地区(仮)

青森県薬剤師会弘前支部

青森県認知症フォーラム2013-2015年 問題を見据えて地域連携を考える

日時：平成25年3月29日(金) 18:30~

場所：ニューキャッスルホテル弘前 3階「麗峰」

【Opening Remarks】

津軽保健生活協同組合 藤代健生病院

院長 牧口 幸一 先生

【特別講演Ⅰ】

『認知症疾患医療センターに向けたチーム医療
-医師・コメディカル・患者・家族を繋ぐ-』

高松病院 診療部長 高松 幸生 先生

【特別講演Ⅱ】

『かかりつけ医による認知症治療

～由布もの忘れネットワークの取組み～』

大分大学医学部 総合診療部

診療講師 吉岩 あおい 先生

【Closing Remarks】

下田クリニック 院長 下田 肇 先生

主催：第一三共株式会社

後援：弘前市医師会

南黒医師会

青森県薬剤師会弘前支部

親睦委員会

●「ゴルフサークル」のご案内

【3.4月の開催予定】

3月28日

4月4.11.18.25日

時間：20時~

場所：きものセンターゴルフ練習場

弘前市大字小沢字井沢84

今年も親睦委員会ではゴルフの練習をします。

初心者大歓迎。興味のある方は一度ご連絡ください。

連絡先：親睦委員会委員長 齋藤武

TEL：0172-36-1310

携帯：090-6229-0380

緩和ケア公開講座報告

弘前調剤センター 高橋 和希

2/8 弘前大学医学部附属病院にて緩和ケア公開講座が開催されました。

まず、症例を通してオピオイドの基本的な使用法、副作用、副作用に対する支持療法、オピオイドローテーションの注意点などについて学習しました。

続いて麻酔科の佐藤哲観先生による講座が行われました。痛みの種類について、オピオイドローテーション、鎮痛補助薬として使用される各薬剤の特徴、痛みの評価、神経ブロック療法など盛りだくさんの内容でした。症例を通して学ぶことができたので理解しやすく、またすぐにでも現場で生かせるような内容でした。なかでも鎮痛補助薬について使用経験による各薬剤の特徴などを聞くことができたのは大変貴重でしたし、神経ブロックについても今まで学ぶ機会があまりなかったため興味深く聞くことができました。

90分という短い時間でしたが、自分の持っている知識の再確認、新しい知識の習得、さらに薬剤師という職能を生かした緩和ケアとは何かということを考える良い機会となりました。

がん患者さんの中には、すぐに心を開いてくれない方もいらっしゃいます。そういった患者さんにどのようにアプローチしていけば良いか、不安を抱えている患者さんの心のケアなどについても学んでいきたいと考えました。

うらの こういち
浦野 浩一

クローバー調剤薬局弘前店
管理

たなか あけみ
田中 明美

磯木調剤薬局
勤務

よしだ えみこ
吉田 恵美子

さいとう調剤薬局大町店
勤務



まさき たかかず
佐々木 孝和

りんごのき薬局大町店
管理

編集者：奈良 卓、佐々木 直実